

8月25日 役場周辺整備検討委員会

8月25日（土）、役場周辺整備検討委員会が開催されました。当日は、約30名の村民の方と、アドバイスを頂いている工学院大学の倉田教授と研究生約10名が参加し、ワークショップ形式で行われました。

ワークショップというのは、ふせんに役場周辺に必要な機能と補完する機能を記入し、項目ごとに分けて行く方法で、3班に分かれて行われました。最終的には、3班それぞれが1つの

模造紙にまとめ上げ、最後には代表者が発表を行いました。

役場は昭和41年、村民会館は昭和48年、人権センターは昭和54年、体育館は昭和50年、若者センターは昭和58年、保健センターは平成8年に建設されましたが、役場庁舎の老朽化による整備とあわせて周辺の一体的な機能を高めようと、本年度から検討がスタートしました。



早大プロフェッショナルズワークショップ

8月5日から10日にかけて、早稲田大学の学生が村内の馬曲、平沢、原千地区に3班に分けて入り、集落の活性化について現地調査を行いました。

各集落では、地元の下高井農林高校の生徒と一緒にそれぞれの地区の資源を調べたり、住民の方に聞き取り調査をするなど、各集落がどうしたら元気になるかを真剣に調べていました。

9月20日には、

学生達が村を訪れ、各班ごとに調査した内容を、役場職員や集落のみなさんに発表していただく予定です。

早稲田大学プロフェッショナルズワークショップは、平成21年からスタートし、本年度4年目となっています。参加者の中には、毎年木島平村を訪れる学生もいて、集落の方の中にも待ちわびている方もいらつしやると聞きます。

学生の提案が集落を活性化させ、最終的には木島平村全体の活性化につながれると思います。



千葉市 小池 脩一

[illegible]

それによると、全員が出資金（20円）を出し、総会を行い、信

今、学校ではキャリア教育とか、インターシップとかで体験学習を取り入れているが、まさに木島平中学校で取り組んだ諸活動は、これらの先導的な活動に当たると言っても過言ではあるまい。貴重な時間をあてなくても十分目的が達成されていたのではないと思う。だれもが、働くのが当たり前であり、主体的に取り組んでいた、良き時代であった。